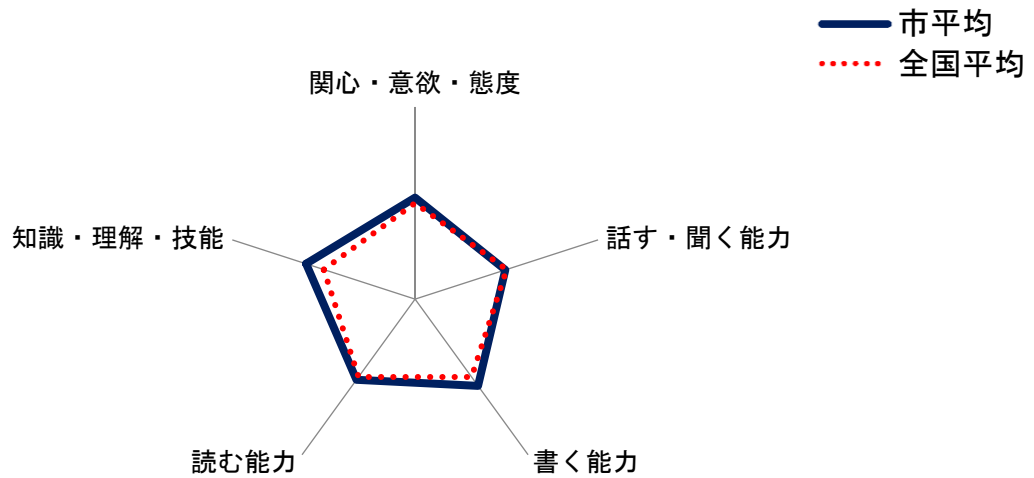
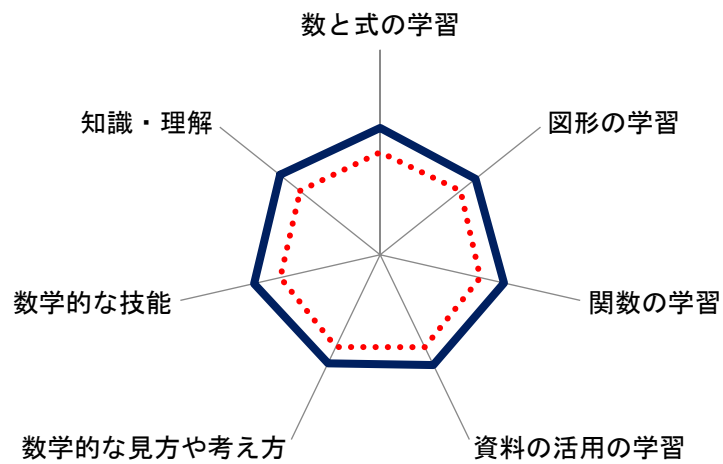


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

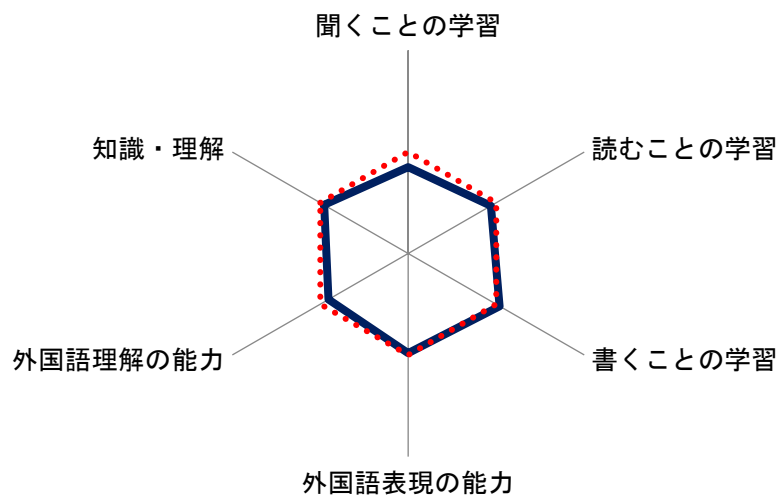
【国語】



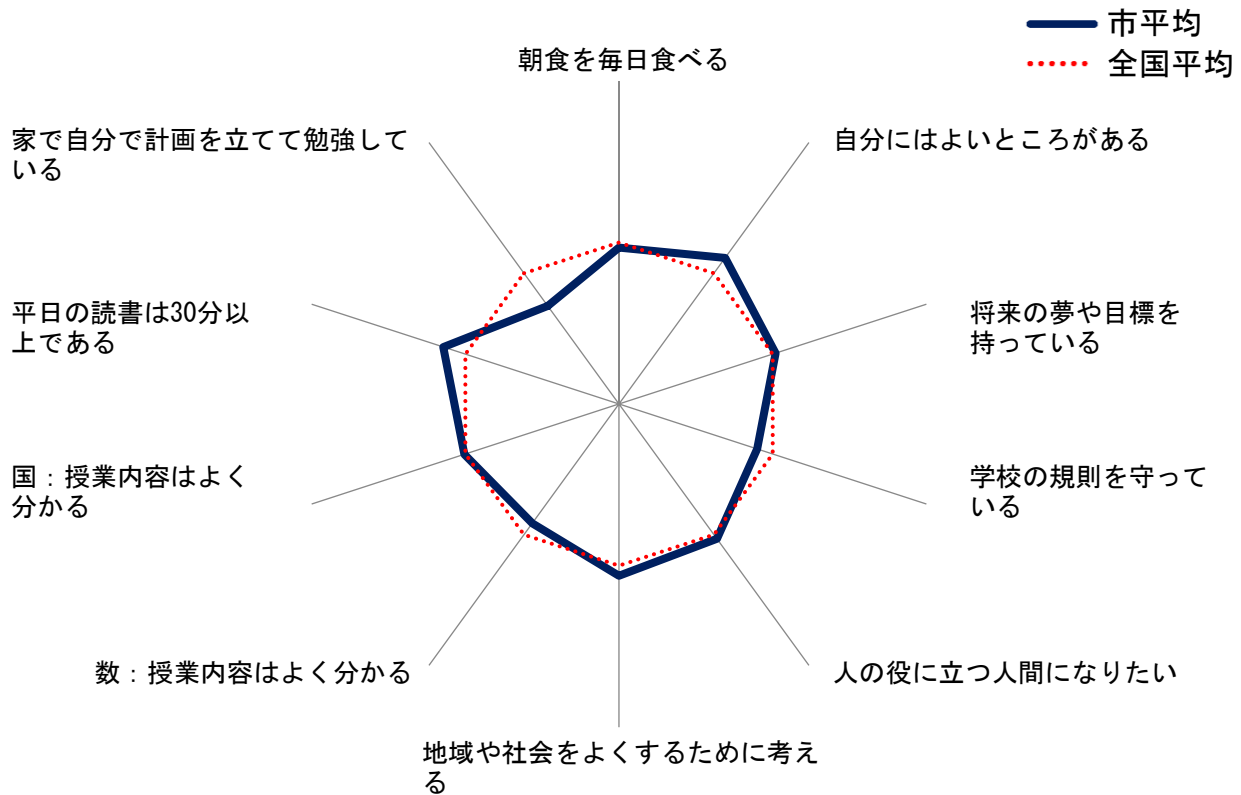
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、ほとんどの項目が全国平均を上回っており、良好な結果である。特に数学は、全ての項目において高い平均正答率であった。英語は「聞くことの学習」、「読むことの学習」の項目が全国平均を下回っており、授業の中で聞く力や読む力を身に付けさせることが望まれる。今後も、各教科において知識と活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組が望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均とほぼ同じである。「自分にはよいところがある」の項目は良好な結果であったが、「家で自分で計画を立てて勉強している」の項目は全国平均を大きく下回っており、課題であると言える。また、「平日の読書は30分以上である」の項目は全国平均を上回っているものの、昨年度に比べて肯定率が低下しており、読書習慣の定着が望まれる。